ご使用者向け

取 扱 説 明 書

懸垂幕装置「メディアタワー」下手巻式

（MTST型）

・ご使用になるお客様に必ずお渡し下さい。
・お客様はご使用になる前に、必ずお読み下さい。

取付け前の用意とチェック

① 広告幕

・幕固定用のハトメの数はバトン（幕取付けパイプ）の数の 2 倍（左右）必要です。
・針金は、ビニ鉄の線の太さが2mm 以上の物をご使用下さい。

② 安全帯

・万一の転落防止のために装着して下さい。

③ 踏み台か脚立

・ハンドル操作位置が高所の場合、転落防止のため安全帯を装着し、安定した踏み台で作業を行って下さい。

ご注意ください

●幕を付けずに誘導バトンの昇降を確認する場合
下記に該当する装置は幕をつけずに誘導バトンを上げるとバトンが降りない場合がありますのでご注意下さい。

装置寸法
・装置幅0. 9m以下で装置高さ 16m以上の装置
又は
・装置幅0. 9m以上で装置高さ 10m以上の装置

誘導バトンに中間バトン 5 本以上をひも等で結束してから誘導バトン昇降の確認をして下さい。
（バトン同士はスキマをあけて結束）

幕の取付け方法

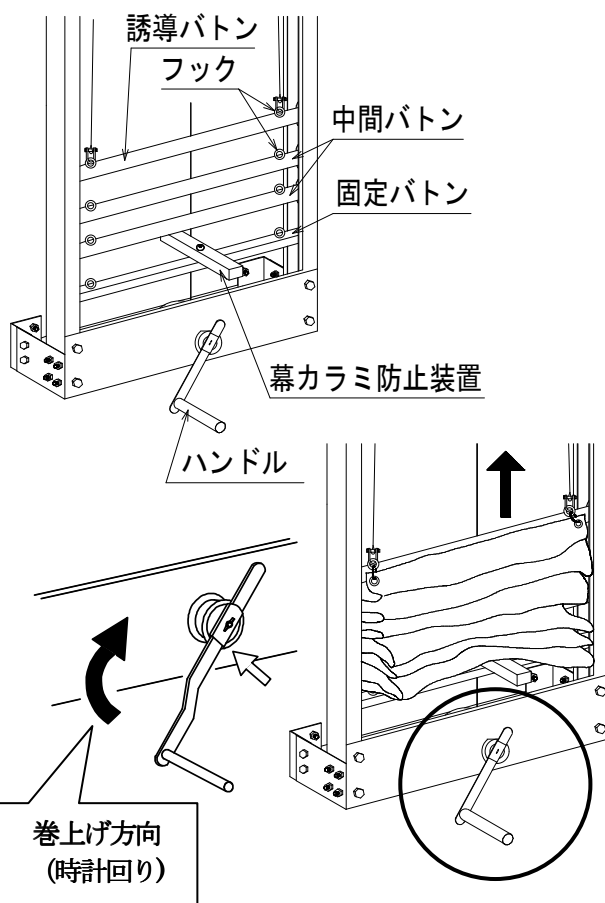
① 幕を取付ける前に、転落防止のため、用意した安全帯を丈夫な手すりまたは、装置の桟に固定して、必ず安全を確認してから作業を行って下さい。

② 幕カラミ防止装置を90° 回転させて引き出し、その上に幕を置いて下さい。

③ ウインチハンドルをウインチに差し込み、ネジで固定して下さい。

④ 幕の最上部のハトメと誘導バトンのフックを針金ではずれないよう結束して下さい。

⑤ 上から 2 番目の幕固定用のハトメが、次のバトンの位置に来るまで幕を巻き上げ、幕のハトメとバトンのフックを針金ではずれないよう結束してください。

⑥ 同じ要領で残りの中間バトンのフックに幕を結束してください。
針金はしっかり結んで下さい。

⑦ 全てのバトンに幕を結束したら、幕の最下部のハトメを固定バトンのフックに針金で結束してください。

⑧ 誘導バトンを巻き上げて幕を張って下さい。
誘導バトンがストッパーに当たる手前で、幕が張っている状態が正常な状態です。
幕が張らない場合は、幕が長いためです。
幕の下側で高さ調整して下さい。
必要以上にハンドルを回すとブレーキがきき過ぎ、ウインチが故障します。きき過ぎてハンドルを反時計回りに回しても回らなくなった場合は、木片等で衝撃を与えて回して下さい。
その際衝撃でハンドルが回りすぎる事があるので注意して下さい。

広告幕

ハンドル

⑨ 幕の装着が完了したら、幕カラミ防止装置を90° 回転させて収納して下さい。
また、危険防止のため、ウインチからハンドルを抜いて、所定の場所に保管して下さい。
取付けたままですと、イタズラまたはボルトのゆるみ等で、落下する原因になります。

⑩ 幕を降ろす時は、幕カラミ防止装置を90° 回転させて引き出し、ハンドルを反時計回りに回し、幕を降ろして下さい。
幕が降りたら、それ以上ハンドルを回さないで下さい。
必要以上にワイヤーを出すと、ワイヤーがたるみ過ぎ、もつれる原因になります。

幕降ろし方向
（反時計回り）

ご 注 意

・強風時（風速15m／s以上の時）は、速やかに幕を降ろして下さい。
取付けたままですと、幕・装置・壁が破損することがあります。
・幕を上げる際、ワイヤーが乱巻きや片巻きにならないよう確認しながら操作して下さい。
・長期間幕を取付けない時は、危険防止のためバトンを装置下部まで下げて、バトン全部の両端をひもで縛って下さい。
・幕は全部のバトンに針金で完全に結束して下さい。
・複数の懸垂幕装置にまたがって1枚の幕を取付ける場合、必ず全てのバトンフックに幕を結束して下さい。幕の両端部だけの結束で使用しますと装置の故障に繋がります。
また幕の上げ下げは、全てのウィンチを同時に操作して行って下さい。
・間引き固定をした場合、幕の破損につながる恐れがあります。
・完全に固定しないと雨や風で針金が緩むことがあります。
・作業時、工具等を使用する時には、ひも等を使って落下防止の処置をして下さい。
・強風後、ボルト・ナットの緩みがないか点検し、締め直して下さい。
・本体（メディアタワー）と躯体との間に緩衝用ゴムを使用されている場合、ゴムの劣化によるボルト・ナットの緩みが考えられますので定期的に検査をし、緩んでいる場合は締め直して下さい。
・ この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用下さい。
・ この取扱説明書はお読みになった後、大切に保管して下さい。

(株)ダイケン
TEL 06－6392－5321